令和元年度 事業報告

伊勢志摩の観光振興に関する方向性や戦略を示す「伊勢志摩観光振興プラン」に基づき、平成31年度から5か年計画の初年度として、観光立圏“伊勢志摩経済圏の活性化”を目指した取り組みを行いました。

なかでもインバウンド業務については、国内観光客が中心である伊勢志摩地域へ外国人観光客を誘客することで、永続的に観光業が発展していくことを目的として、欧米豪をメインターゲットとした取り組みを令和元年度から本格始動させました。

国内誘客事業についても、東京・大阪といった大都市圏や北海道エリアにターゲットを絞ったプロモーション、旅行商品の造成を行ったほか、令和元年度からは、温泉を活用した「癒し」をテーマにした、新たなアプローチに取り組みました。

また、今後の取組を充実させるためには、伊勢志摩広域で官民が一体となり、様々な業種を包含した観光振興事業を展開・推進していくことが必要であるため、専務理事を中心として、新規会員の獲得に取り組み、昨年度末と比較して38会員増の205会員となりました。

1 観光情報の発信事業　　7,696千円

伊勢志摩地域への効果的な誘客のため、行政区域の枠を超えた広域でのスケールメリットを活用した情報発信に取り組みました。

(1) インターネットによる情報発信　　1,984千円

当機構ホームページ（以下：機構 HP）について、令和元年度は「伊勢志摩リゾートゴルフ特集」「鳥羽浦村牡蠣の国特集」や、観光スポット・イベントの登録等、タイムリーな情報発信に努めたほか、関連するキーワードで検索したときに機構HPが上位に表示されるよう、アクセス数向上対策に取り組みました。

年度全体として、ページビュー数は前年度を上回ることができませんでしたが、年度途中で閲覧者の利便性の向上や注目させたい情報を際立たせることを目的としたHP改修を行ったことで、下半期は、毎月前年度を上回ることができました。

また、セッション（閲覧者）数は、前年度と比較して、約15万セッション（約7.4%）増の約222万セッションで引き続き増加傾向となっています。

その他にも、SNS（フェイスブック・インスタグラム等）を活用した情報発信

にも積極的に取り組みました。

なお、アクセス地域は、約 90%が三重県外からとなっており、行先の検討や計画の段階で多く見られていると推測されます。

この他にも、機構 HP を活用した財源確保の取り組みとして、宿泊予約サイトと契約し、機構 HP の旅の予約ページから予約・宿泊された件数や金額に応じて報酬を得ており、令和元年度は 320 件の宿泊で、約 12 万円の収入がありました。また、特集記事の有料掲載の募集を行い、2 件を掲載しました。

※ページビュー

閲覧されたページ数。WEB ページが 1 ページ表示されると 1 ページビュー。

※セッション

サイト訪問者数。一度の訪問における 30 分以内の行動が 1 セッション。サイトを離脱しても 30 分以内に再来訪した場合は同一セッション、同一ユーザーでも 30 分以降の再来訪は別セッション。

【ホームページアクセス数等】

項目		平成 31 年度 令和元年度	平成 30 年度	前年度比
ホームページ アクセス数	年間	約 548 万 ページビュー	約 576 万 ページビュー	95.1%
		約 222 万 セッション	約 207 万 セッション	107.2%
	年末年始 (12/28～1/3)	152,921 ページビュー	98,331 ページビュー	155.5%
フォトギャラリー画像請求件数		1,995 件 (月 170 件)	2,259 件 (月 190 件)	88.3%
フェイスブック いいね数		約 12,300	約 11,100	＋1,200
ツイッター フォロワー数		約 4,090	約 3,990	＋100
インスタグラム フォロワー数		約 2,200	約 1,500	＋700
宿泊予約サイト	宿泊実績	320 件	537 件	59.6%
	収入	117,869 円	129,342 円	91.1%

(2) メディアによる情報発信　　4,322 千円

三重テレビでテレビ番組「ええじゃないか。」を制作し、3 市 1 町の魅力的な資源や、旬の情報等を発信しました。

＜放送期間＞

平成 31 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月　(毎週 1 回 55 分間)

＜放送局＞

三重テレビ放送	毎週月曜日	午後 7 時 00 分 ～
岐阜放送	毎週木曜日	午後 7 時 30 分 ～
奈良テレビ	毎週木曜日	午前 8 時 30 分 ～
サンテレビジョン	毎週土曜日	午後 1 時 05 分 ～
京都放送	毎週木曜日	午後 7 時 00 分 ～
千葉テレビ	毎週木曜日	午後 7 時 00 分 ～
テレビ神奈川	毎週金曜日	午後 8 時 00 分 ～
テレビ埼玉	毎週日曜日	午後 4 時 00 分 ～
とちぎテレビ	毎週土曜日	午後 2 時 00 分 ～

※上記 9 局で全国世帯数の 56.8%をカバーしています

＜放送実績＞

三重テレビ放送日	取材地	タイトル
令和元年 7 月 15 日	鳥羽市	元気な”旬”を感じるふれあい旅
9 月 2 日	伊勢市	外宮グルメ満喫のふれあい旅
9 月 30 日	南伊勢町	絵になるスポットをめぐるふれあい旅
11 月 11 日	伊勢市 鳥羽市 志摩市	「三重のええとこおもてなし」のふれあい旅～前編～
11 月 18 日	南伊勢町	「三重のええとこおもてなし」のふれあい旅～後編～
11 月 25 日	鳥羽市	人気上々スポットでふれあい旅
令和 2 年 1 月 13 日	鳥羽市 志摩市	海女文化を知るふれあい旅
1 月 27 日	伊勢市	神様の記録を知るふれあい旅
3 月 2 日	伊勢市 鳥羽市	「静と動」のふれあい旅
3 月 23 日	伊勢市 志摩市	絶景を愛でる、ふれあい旅

(3) パンフレット等による情報発信　　1,390 千円

紙媒体による伊勢志摩地域全体の観光情報の発信として、ガイドブックを作成・配布しました。

伊勢志摩観光ガイドブック「美し国　伊勢志摩」は、これから伊勢志摩地域に訪れる方への情報発信として、地域全体の観光情報や伊勢志摩地域への経路情報を掲載しつつ、伊勢志摩地域での周遊にも使えるガイドブックとして、地図情報や具体的なドライブプランなど広く情報を盛り込んだものです。

このガイドブックは、伊勢志摩管内の観光案内所や宿泊施設のほか、三重テラスやセントレアなど県外施設でも配布されており、伊勢志摩地域を網羅したガイドブックとして広く活用されています。

さらに、日本語版ガイドブックに加え、年々増加する外国人観光客にも、伊勢志摩地域の魅力を分かりやすく効果的に発信できるよう、英語版・中国語版（繁体字・簡体字)、韓国語版のガイドブックを作成し、海外からの観光客に配布するとともに、当機構会員の皆様には海外での PR 活動や海外出張時の資料としても活用いただいています。

今年度は、英語版と日本語版（ダイジェスト）の増刷と、日本語版ガイドブックの印刷用データの作成を行いました。

＜伊勢志摩観光ガイドブック「美し国 伊勢志摩」作成・配布状況＞

種別	作成部数	データ作成	配布部数
日本語版	－	○	53,200 部
日本語ダイジェスト版	8,000 部	○	19,300 部
英語版	20,000 部	－	710 部
中国語・繁体字版	－	－	5,100 部
中国語・簡体字版	－	－	2,400 部
韓国語版	－	－	1,100 部

2 観光客及びコンベンションの誘致促進及び受入体制の整備に関する事業
50,458 千円

伊勢志摩地域全体への観光入込客の増大を図るため、地域で一体となって観光客や MICE 等の誘致に取り組みました。

(1) インバウンド推進事業　　22,973 千円

国内人口の減少が続いている中、国内観光客が中心の伊勢志摩地域へ外国人観光客の誘客を促進することで、永続的に観光業が発展していくことを目的として、欧米豪をメインターゲットとした取り組みを令和元年度から本格始動させました。

①マーケティング

当機構会員宿泊施設様から提供いただいた外国人宿泊者データにより、大まかな傾向を把握し、令和２年度以降の事業に活用します。

ご協力いただいた施設様には、毎月、集約結果のフィードバックを実施しました。

集計結果（外国人宿泊者データ提供事業者数：24 社）

地　　域	個人旅行者	団体旅行者	合　　計
東アジア	8,385 人	12,453 人	20,838 人
東南アジア	931 人	1,733 人	2,664 人
欧米豪	1,988 人	2,563 人	4,551 人
その他	857 人	1,122 人	1,979 人
合計	12,161 人	17,871 人	30,032 人

②受入体制の整備

ア 訪日外国人受入支援事業

外国人観光客の受入に意欲的な事業者を当機構会員から募り、伊勢志摩インバウンドネットワークを構築しました。現場の声や当機構の取組を共有する場として意見交換会を実施し、定期的にメールマガジンの配信をしました。

また、当機構会員を対象に、施設内掲示物やスタッフ、ホームページ等の多言語対応のためのセミナーや個別研修を実施しました。

・ネットワーク参画事業者数…66 社

・受入環境整備支援参画事業者数…19 社

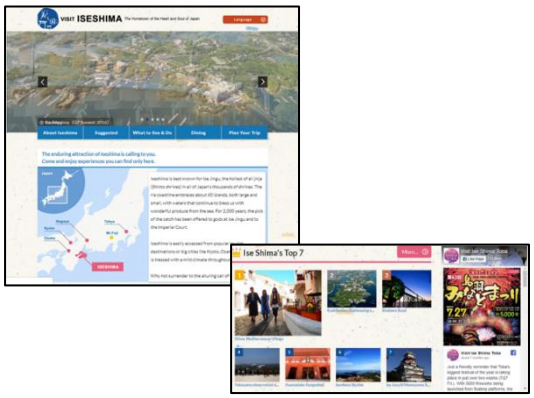
開催日	内　　容
平成 31 年 4 月 26 日	伊勢志摩インバウンドネットワークへの参画意向確認
令和元年 6 月 5 日	第 1 回 意見交換会
8 月 5 日	受入環境整備支援事業案内を発信 参画希望事業者の募集開始
8 月～9 月	受入環境整備支援事業への参画希望事業者ヒアリング
10 月 2 日	第 2 回 意見交換会
10 月 24 日 ～27 日	ツーリズム EXPO、VJTM Osaka 2019 出展

10 月 28 日 ～11 月	受入環境整備支援事業の各事業者確定支援内容を通知 支援開始
12 月上旬	HP 関連支援のアドバイザー派遣
12 月 18 日	HP 関連対策のため勉強会開催 今後の支援内容と派遣日程を決定
令和 2 年 1 月中旬	多言語対応に係る個別支援案内を発信
2 月中旬～3 月	多言語対応個別支援
2 月 25 日	多言語セミナー開催
3 月上旬	現場研修実施（ランドオペレーター訪問）など ※新型コロナウイルスの影響を考慮のうえ、個別支援に変更。
3 月 19 日	情報発信・口コミ増加対策セミナー （Google 機能の活用、Google マイビジネスの登録）

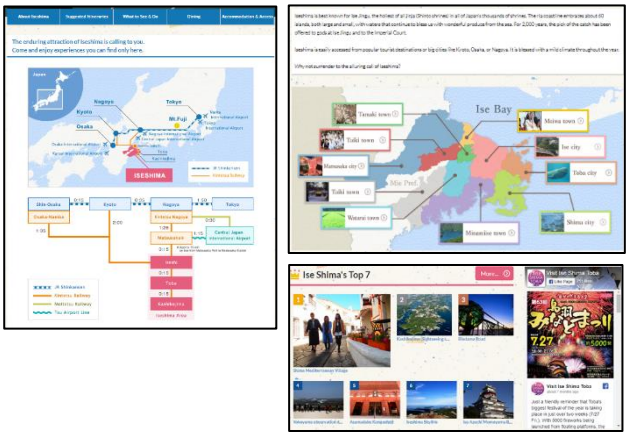
イ　多言語版ホームページ（HP）の充実

英語版ホームページの改修を実施しました（トップページの改修、フォトギャラリーの外国語対応、動画特集ページの新設）。

改修前



改修後



ウ 鳥羽港クルーズ船受入対応

鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会に参画し、寄港当日の受入対応を行いました。また、ファムトリップ、各種商談会において、新規クルーズ船の誘致に向けたプロモーションを実施しました。

開催日	内　　容
平成 31 年 4 月 4 日	ダイヤモンドプリンセス寄港
令和元年 5 月 10 日	EUROP2 寄港
8 月 24 日	ダイヤモンドプリンセス寄港
9 月 24 日	ダイヤモンドプリンセス寄港
11 月 19 日～ 21 日	ポナン社鳥羽港視察
11 月 21 日	ポナン社ワークショップ
11 月 22 日	ダイヤモンドプリンセス寄港
12 月 8 日	ダイヤモンドプリンセス寄港
12 月 24 日	ダイヤモンドプリンセス寄港
令和 2 年 1 月 17 日	キュナード社商談会
1 月 19 日	ダイヤモンドプリンセス寄港
3 月 25 日	ダイヤモンドプリンセス寄港 ※新型コロナウイルスの影響により寄港キャンセル

③プロモーション

ア VJ 事業：訪日プロモーション近畿日本運輸局地方連携事業

フランスとタイの個人旅行者層をターゲットとし、三重県庁と連携し歴史文化、食、自然景観に特別な体験を加えた当地域の魅力と近鉄レールパスの PR のため、インフルエンサーやメディアの招聘、情報発信、旅行博出展、キャンペーンの展開を実施しました。

実施日	内　　容
令和元年 11 月 8 日～10 日	タイ FIT フェア出展

11 月 27～12 月 2 日	タイ人インフルエンサーファムトリップ
令和 2 年 1 月 21 日～1 月 24 日	フランス人メディアファムトリップ
2 月 18 日～3 月 2 日	タイ人向け誘客キャンペーン

イ 商談会等

ツアー造成促進を目的に各種商談会等に出展し、海外旅行会社や国内ランドオペレーターに対する伊勢志摩の PR を展開しました。

開催日	商談会・旅行博等
令和元年 6 月 27 日	三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会商談会（東京） 伊勢志摩地域から 14 社が参加
10 月 7 日～9 日	ABTA2019 Travel Convention（東京）
10 月 24 日～26 日	VJIT JAPAN トラベル&MICE マート 2019（大阪） 35 社（欧米豪、東南アジア中心）と商談（自由商談含む）
11 月 27 日～28 日	VJTM-ASEAN・INDIA-（愛知） 25 社（東南アジア）と商談（自由商談含む）
12 月 2 日～5 日	International Luxury Travel Mart Cannes 2019 （フランス） 40 社（イギリス、フランスを中心）と商談

ウ 各種ファムトリップ

三重県や各市町などに依頼のあった広域に係るファムトリップをアテンドし、地域の魅力の PR を実施しました。

開催日	内容
令和元年 6 月 5 日	鳥羽市海女文化 PR 事業（フランス）
7 月 9 日～11 日	環境省国立公園ファムトリップ
7 月 27 日	Beauty of Japan
8 月 1 日	Sakura Tours Japan
10 月 30 日～31 日	collette（アメリカ）
11 月 28 日～29 日	VJ 事業ファムトリップ（タイ）
令和 2 年 1 月 21 日～24 日	VJ 事業ファムトリップ（フランス）
1 月 26 日～30 日	海女コンテンツ造成事業モニターツアー

エ　その他

ラグビーワールドカップ2019会場や付近の施設にて伊勢志摩パンフレットを設置、配布を実施しました。

10月3日：花園ラグビー場 / 10月12日～13日：トヨタスタジアム

④伊勢志摩国立公園に関する取組

ア　環境省との連携

VJTM JAPANトラベル&MICEマート2019に環境省と共同で伊勢志摩国立公園としてブース出展し、海外旅行会社と商談を行いました。

10月24日～27日：インテックス大阪 / 商談件数　29社

イ　コンテンツの発掘、磨き上げ

伊勢志摩国立公園内で体験できるアクティビティのコンテンツ集を刷新しました。

ウ　観光庁：最先端観光コンテンツ インキュベーター事業

令和元年度の観光庁「最先端観光コンテンツ インキュベーター事業」として「事業者基盤の強化による新コンテンツ造成事業」に取り組み、訪日外国人の誘客等に向けたモデル事業を実施しました。

エ　人材育成

体験事業者を対象に第一産業について体験し、情報発信や集客、地域ならではのおもてなしを学ぶ「第一次産業と観光との連携による伊勢志摩国立公園の魅力を学ぶ講習会」を実施しました。

(2) 伊勢志摩情報発信プロモーション事業　　16,973千円

旅行者の消費傾向が「モノ消費」から「コト消費」へと移り変わり、旅行者のライフスタイルに寄り添う伊勢志摩になるため、もっとも代表的なコンテンツである「神宮」に頼るだけでなく、常に新しい伊勢志摩であり、旅行者が求める観光地であるということをしっかりと伝えるプロモーション展開を実施しました。

大都市圏におけるターゲットを絞った「新しい伊勢志摩」観光プロモーション事業として、伊勢志摩地域全体の観光PRを実施し、地域イメージの訴求に努めました。伊勢志摩ならではの観光資源を再発掘する「伊勢志摩イメージチェンジ」と、長期ステイを促す「長期滞在促進リゾートステイ」を目標に、新規及びリピート顧客の増加と周遊促進に繋げるため、旅行者へ視覚的にイメージを伝え、旅に特化した雑誌「TRANSIT」を活用して旅の目的地として伊勢志摩の魅力を伝えました。

事業をより効果的に実施するために三重県、各市、近畿日本鉄道等と連携し、

伊勢志摩地域一体となって出展した「ツーリズムEXPOジャパン2019大阪関西」の事業とも連動して、単に雑誌出稿にとどまらず、一貫したコンセプトを持ち、連携したプロモーション及び観光PRを実施しました。

また、首都圏での情報発信の一役を担う「伊勢志摩アンバサダー」を活用し、日頃からSNS等をメインとした伊勢志摩の情報発信や、各種イベントへの出演、また、伊勢志摩アンバサダーとしてメディアへの露出等様々な手法で伊勢志摩の魅力を発信しました。

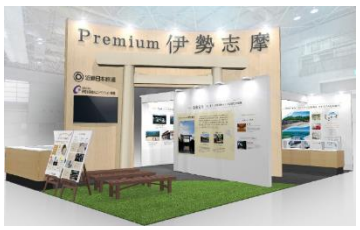
さらに、昨年度において北海道の名付け親で知られる松阪出身の偉人「松浦武四郎生誕200年」と「北海道命名150年」のメモリアルイヤーであったことや、新千歳空港を結ぶ航空路線の増便があったことを契機に、加えて今年度については改元の年であり、伊勢志摩が注目されることから、北海道から伊勢志摩へ誘客する絶好機会と捉えて、伊勢志摩広域で連携して３回目の開催となる北海道旅行博への出展、旅行商品の造成、メディアを活用した情報発信などの事業を実施しました。

①大都市圏におけるターゲットを絞った「新しい伊勢志摩」観光プロモーション事業

雑誌「TRANSIT」9月号（令和元年9月13日発売）
※綴じ込み11Pタイアップ＋SNS(Instagram)転載
(@transitmagazine(フォロワー数 約25,000人)
カメラマン：浅田政志氏
女優：大西礼芳氏

雑誌「TRANSIT」
出版社：ユーフォリアファクトリー（講談社より発売）
発行部数：55,000部
発売日：季刊年4回（3/6/9/12月中旬）
価格：1,800円
トートバッグ作成

②ツーリズム EXPO ジャパン 2019　大阪関西への出展



日時：令和元年 10 月 24 日（木）～10 月 27 日（日）
※商談会：24 日（木）、25 日（金）
一般日：26 日（土）、27 日（日）
場所：インテックス大阪
来場者数：151,019 人　（想定来場者数：13 万人）

世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン 2019　大阪関西」に、三重県、伊勢市、鳥羽市、志摩市、松阪市、近鉄、協賛事業者 7 社と連携し、官民一体となって出展しました。“プレミアム伊勢志摩”をコンセプトに、伊勢神宮を想起させる鳥居をシンボルゲートとして、ブース内のパネルでは「令和元年 はじまりの年だからこそ訪れたい場所（伊勢神宮）」、「TRANSIT×伊勢志摩」などをパネル化し、改元を契機に伊勢志摩に訪れたくなるような訴求を行いました。

さらに、協賛いただいた宿泊事業者及び旅行会社については、ツーリズム EXPO ジャパン運営事務局が実施する事前アポイントメント制の商談会に参加していただき 2 日間で合計 68 商談を実施し、販路拡大に繋げていただきました。

③人材発掘事業（伊勢志摩アンバサダー）

伊勢志摩アンバサダーを活用し、情報発信を行いました。

尾崎　ななみ（32 歳）
伊勢市出身　東京都在住
Instagram アカウント:@nanami_ozaki_73
フォロワー数　約 5,000 人

主な活動

・口コミやインターネット・SNS などによる伊勢志摩の魅力の情報発信
・伊勢志摩出身者ならではのローカルで旬な情報を発信
・イベントへの協力参加　など

ツーリズム EXPO ジャパンにおける情報発信
日時：令和元年 10 月 26 日、10 月 27 日　両日 15 時 00 分～16 時 00 分
会場：インテックス大阪　JR 東海ブース、伊勢志摩ブース
a　JR 東海ブース内ステージイベント
『「伊勢志摩アンバサダー尾崎ななみ氏」が語る伊勢志摩の魅力』をテーマにステージイベント実施
b　伊勢志摩ブースでの観光 PR

尾崎さんの伊勢志摩アンバサダーとしての活動の幅が広がっており、以下のような取組みにも参画しています。

例：東京大神宮のホームページモデル、東京日本橋 三重テラスで開催の真珠イベントへの出演、パールズコレクション 2020 in 志摩へのゲスト出演など

④北海道エリアにターゲットを絞った誘客促進事業

平成 30 年度に、三重県松阪市の偉人であり、北海道の名付け親である松浦武四郎の生誕 200 年、北海道命名 150 年を迎えることを契機に事業を開始しました。令和元年度は改元の年であり、神宮をはじめとする伊勢志摩地域にさらに注目が集まりまることを受け、年間約 987 万人の利用者数を誇る新千歳空港を擁する札幌エリアをメインターゲットとし、誘客促進に取り組みました。

ア　「第３回北海道旅行博」出展（主催：北海道新聞社）

開催日：令和元年 11 月２日（土）～11 月３日（日）

会　場：札幌グランドホテル２階（札幌市中央区）

来場者数：２日　13,724 人

３日　10,572 人　　合計　24,296 人（延べ人数）

（前回来場者数より約 10,000 人増）

イ　札幌国際大学との連携

観光を学ぶ大学生 2 名を伊勢志摩へ招聘し、模擬的に地域を２泊３日で観光周遊していただくことを通じ、北海道在住の若者世代の視点から伊勢志摩の魅力を発見していただき、発信しました。

a　北海道旅行博１日目 BtoB セミナーでの発表

実際に訪れて感じた伊勢志摩の魅力を来場者である北海道民の方へ紹介。

b　レポート記事を作成し伊勢志摩観光ナビ（当機構 HP）に掲載

訪れたスポット毎に感想などを交えてレポート記事として提出いただき、伊勢志摩観光ナビへ特集記事として掲載。

ウ　旅行商品造成・販売

本事業を通じ ANA セールス株式会社が造成する旅行商品『ANA スカイホリデー「三重スペシャル伊勢志摩」（北海道・仙台・秋田・新潟・松山・九州各地発）』を造成し、令和元年 10 月１日から令和２年５月 31 日の間 351 店舗の旅行会社において販売。

※販売実績　390 人（令和２年４月 20 日現在）

エ　Yahoo!JAPAN ブランドパネルを活用した広告展開

対象地域のユーザーがスマートフォンで Yahoo!JAPAN から検索を行っ

たの際、伊勢志摩のバナー広告を表示させ、当事業で造成した旅行商品「三重スペシャル伊勢志摩」のウェブページへ誘導し、伊勢志摩を認知させるとともに直接旅行商品を購入できるような仕組みを展開しました。

配信期間：令和元年 11 月 22 日（金）～11 月 30（土） 9 日間

配信地域：札幌近郊（札幌市・石狩市・石狩郡・江別市・北広島市・恵庭市・千歳市）

配信数：50 万回

バナー：２種類

オ　メディアを活用した情報発信

北海道新聞朝刊折込情報誌「ontona」へ出稿し、伊勢志摩の観光コンテンツと併せ旅行商品「三重スペシャル伊勢志摩」、中部国際空港を通じた伊勢志摩までの交通アクセスを紹介した。

発行日：令和元年 11 月 28 日

発行部数：35 万部（タブロイド版フルカラー）

(3) ＶＩＳＩＴ伊勢志摩事業　7,506 千円

今後、伊勢志摩地域が観光地として持続的に発展していくうえで、魅力の一つの柱として「温泉」を育て上げ、宿泊者数の増加につながるよう、「伊勢志摩の温泉」として認知度の向上に取り組んでいます。

令和元年度には、伊勢志摩地域にある「温泉」の強み・弱みなどの現状把握や訴求すべきターゲット、効率的な訴求方法など伊勢志摩に特化したインターネット調査を 2 回実施しました。また、温泉ビューティ研究家である石井宏子氏や東海じゃらん編集長である芝谷千惠子氏を招聘し、外部から見た伊勢志摩の強みやトレンドなど、様々なテーマでご意見をいただきました。

1 回目のインターネット調査では、当地域に来訪経験があり温泉を認知している男女 1,053 名を対象に温泉に関する意識調査を実施しました。

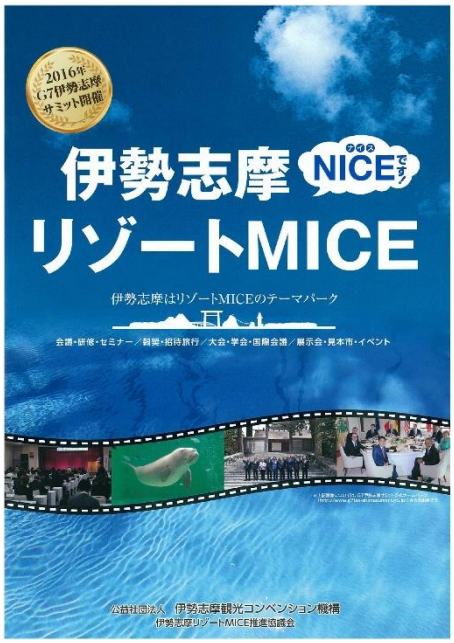
2 回目のインターネット調査では、20～34 歳の男女を対象として、複数のコンセプト案に対する興味・関心を調査したところ、「癒し」をテーマとしたコンセプト案に対し、多くの支持をいただきました。その結果をもとに、令和 2 年度には、「癒し」をコンセプトに、伊勢神宮と温泉、食を組み合わせたテーマで、プロモーションを実施することとなりました。

また、「温泉」を提供している宿泊施設の情報を集め、当機構ホームページに温泉特集ページを新設することで、観光情報とともに当地域への宿泊を検討している方々が、宿泊・温泉情報を入手しやすい環境づくりに努めました。

(4) MICE 誘致事業　　2,881 千円

令和元年度においては、10 件のコンベンション大会に対して、開催支援のための助成金を交付し、14 件のコンベンション大会に対して、後援名義の使用を許可しました。

助成金を含めた開催支援サービスの対象を、従来の「学術系 C（学会、大会等)」「スポーツ・文化系 C（競技会、コンクール等)」に加え、「M（企業の会議等)」「I（企業の報奨旅行等)」「E（展示会、見本市等)」の MICE 全般に対象を拡大し、引き続き誘致活動を行いました。また、伊勢志摩地域の宿泊施設、観光施設、運輸機関が参画する「伊勢志摩リゾート MICE 推進協議会」と引き続き協力・連携を図り、誘致活動の強化に努めました。



①コンベンション開催支援（助成金交付）

No.	開催日	日数	大　会　名	会　場	参加人数
1	令和元年 5 月 17 日 ～18 日	2	第 10 回日本血液学会 （JSH）国際シンポジウム	鳥羽国際ホテル	247
2	6 月 16 日	1	第 18 回東海マスターズ 陸上競技選手権大会	三重交通Ｇｽﾎﾟｰﾂの 杜　伊勢陸上競技場	455
3	7 月 26 日 ～27 日	2	第 66 回全国国公立幼稚園・こども園 教育研究協議会	三重県営 サンアリーナ	993
4	8 月 3 日 ～4 日	2	第 62 回小学生・中学生 全国空手道選手権大会	三重県営 サンアリーナ	3,000

5	9 月 14 日 ～15 日	2	日本保育ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ学会 第 6 回研究みえ大会	皇學館大学	178
6	10 月 13 日	1	第 23 回東海小学校バンド フェスティバル	三重県営 サンアリーナ	811
7	11 月 2 日	1	第 33 回東海マーチングコ ンテスト	三重県営 サンアリーナ	1, 683
8	11 月 2 日	1	第 41 回東海地区高等学校 商業実務総合競技大会	宇治山田商業 高等学校	852
9	11 月 8 日 ～9 日	2	第 30 回日本小児外科 ＱＯＬ研究会	ｼﾝﾌｫﾆｱﾃｸﾉﾛｼﾞｰ 響ﾎｰﾙ	114
10	11 月 16 日 ～17 日	2	第 34 回全国保育給食セミ ナー	皇學館大学	835
合　計					9, 168

②コンベンション開催支援（後援名義の使用承諾）

№.	開催日	日数	大　会　名	会　場	参加人数
1	令和元年 6 月 1 日	1	第 59 回伊勢えび祭	浜島 海浜公園	38, 000
2	6 月 16 日	1	第 18 回東海マスターズ 陸上競技選手権大会	三重交通Ｇスポー ツの杜 伊勢陸上競技場	455
3	7 月 6 日 ～7 日	2	伊勢志摩・里海 トライアスロン大会 2019	浜島町大矢浜 海水浴場他	844
4	7 月 6 日 ～7 日	2	第 1 回神宮奉納弓道大会	神宮会館	267
5	7 月 13 日	1	第 67 回伊勢神宮奉納 全国花火大会	宮川河畔	190, 000
6	7 月 26 日 ～28 日	3	鳥羽フラ２０１９	三重県営 サンアリーナ	8071
7	8 月 3 日 ～4 日	2	第 62 回小学生・中学生 全国空手道選手権大会	三重県営 サンアリーナ	3, 000
8	9 月 14 日 ～15 日	2	日本保育ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ学会 第 6 回研究みえ大会	皇學館大学	178
9	10 月 19 日 ～20 日	2	第 35 回神宮奉納全日本 ソフトテニス大会	伊勢市 市営庭球場	212
10	11 月 22 日 ～23 日	2	海女サミット２０１９	海の博物館 他	193
11	12 月 7 日 ～8 日	2	野口みずき杯 2019 中日 三重お伊勢さんマラソン	三重県営 サンアリーナ	12, 167
12	12 月 10 日	1	第 52 回日本観光祈願祭	伊勢神宮 （外宮）他	128
13	令和 2 年 1 月 9 日 ～14 日	6	第 8 回伊勢志摩紀州 名古屋フェア	仙台市 （藤崎本館）	35, 071

14	2月2日	1	第5回石神さんマラソン	鳥羽市相差町	784
合　計					289,370

(5) 誘客促進事業　　125千円

会員及び自治体等の関係機関と協働で誘客促進を図るため、観光情報提供会等に参加し、各種誘致活動を行いました。

3 伊勢志摩フィルムコミッション事業　　237千円

映画・テレビ・CM等の撮影を誘致・サポートすることにより、地域内連携の強化を図りつつ地元の魅力の再発見に繋げ、伊勢志摩の魅力を PR することによって、多種多様な広報宣伝を図るため、以下の事業に取り組みました。

(1) 撮影誘致支援活動

映画、テレビ、CM等の映像作品を誘致し、ワンストップサービスによる支援を行い、それらの映像作品を通した当地域の知名度アップや魅力の創出、更には経済効果等、様々な波及効果につなげるとともに、地域が一体となったサポート体制を図ることによる地域連携の強化を図りました。

制作会社等からの問い合わせへの対応や、取材及び撮影へのサポートは 89件（テレビ38、映画12、ドラマ6、CM20、Web3、雑誌6、その他4）で、そのうちテレビやドラマ、Web、新聞等によって伊勢志摩が 38 件発信されました。

年間延べ442名のエキストラを派遣し、その中でも東海テレビ放送制作の正月特番ドラマ「おかえり～とこわかの町・伊勢～」では、ロケ地の選定やエキストラ派遣などを支援し、延べ251名のエキストラを派遣しました。

また今年度も全国劇場公開映画の撮影支援を 1 件行いました。（令和 2 年 5 月時点未公開）

【問合せ、撮影等対応件数】

	問合せ対応や取材・撮影のサポート件数	実際に取材・撮影した件数
平成27年度	100件	50件
平成28年度	117件	50件
平成29年度	101件	40件
平成30年度	56件	18件
令和元年度	89件	38件

【主な支援作品】

テレビ番組

No.	テレビ局名	番組名	放送日
1	毎日放送	サタデープラス（鎖国メシ）	平成 31 年 4 月 27 日
2	テレビ東京	太川蛭子の旅バラ “ローカル鉄道寄り道旅”	令和元年 6 月 27 日
3	Janus TV	Adventure Life	8 月頃
4	TBS テレビ	王様のブランチ（週末トラベル）	10 月 12 日
5	テレビ愛知	ベーヤン&梨乃のハミ出し珍道中 ～伊勢参り編～	10 月 19 日
6	関西テレビ	よ～い ドン！ （いきなり！日帰りツアー）	10 月 22 日
	Turbo	Road-trip dans la péninsule de Kii au Sud-Est du Japon	11 月 24 日
7	NHK	さし旅	令和 2 年 1 月 3 日
8	フジテレビ	もしもツアーズ	2 月 8 日・15 日
9	NHK	ふらっとあの街 旅ラン 10 キロ （伊勢“美（うま）し国”ラン）	3 月 12 日

映画、ドラマ

No.	媒体	題名	公開日
1	ドラマ	おかえり ～とこわかの町・伊勢～	令和 2 年 1 月 2 日
2	ドラマ	死にたい夜にかぎって	2 月 23 日から

東海テレビ制作　エリアドラマ第 2 弾
「おかえり～とこわかの町・伊勢～」の撮影現場

CM、その他

No.	会社・プロダクション名	内　容
1	㈱集英社	週刊ヤングジャンプ
2	㈱ネオパブリシティ	改元！お伊勢参り Bros.
3	㈱リブート	サンヨー食品 和ラー Web 動画
4	㈱ゼロ	月刊 Simple
5	Mr+Positive	AMAN リゾーツ CM
6	㈱ディーフレックス	誌面「1 泊 2 日試乗ツアー」
7	㈱電通クリエーティブX	リフレ「尿漏れパッド」 CM
8	㈱メディアネットワーク	KDDI ケーブルカレンダー
8	㈱ブルックス	近鉄春 ver. CM

(2) 広報活動・研修会　等

活動日・事業名・場所	活動・広報内容
9 月 8 日 第 5 回賢島映画祭 賢島宝生苑	志摩ムービークルーズ主催、伊勢志摩フィルムコミッション後援の「第 5 回　賢島映画祭」及び懇親パーティーに出席し、映画関係者と情報交換を行いました。

「第 5 回賢島映画祭」

(3) フィルムコミッション事業推進委員会や他地域フィルムコミッションとの連携

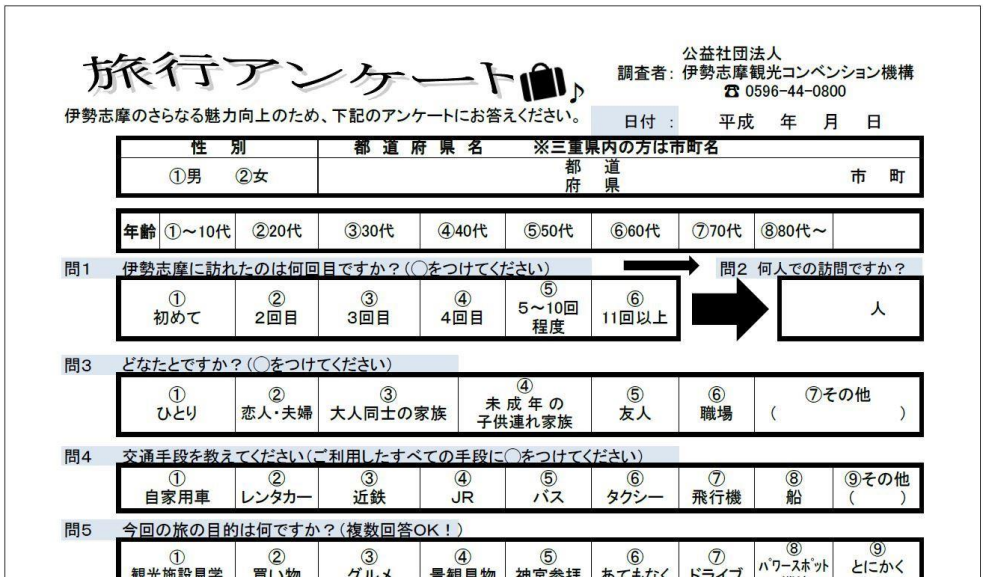
県内フィルムコミッション及び東海地域のフィルムコミッションと情報交換を行ない、連携を図りました。

日程	会議名
令和元年 7 月 11 日	東海地域フィルムコミッション第 1 回実務担当者会議
7 月 30 日	伊勢志摩フィルムコミッション事業推進委員会
令和 2 年 2 月 28 日	東海地域フィルムコミッション第 2 回実務担当者会議 ※コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

4 観光情報の調査研究及び観光客の満足度の向上に関する事業　　129 千円

伊勢志摩広域において、市町の枠・官民の垣根を越えた調整、連携を図り、観光客の実態を把握し、観光客へのおもてなしを向上させるため、以下の事業に取り組みました。

伊勢市 4 ヵ所、鳥羽市 4 ヵ所、志摩市 3 ヵ所の各観光施設にご協力いただき、観光客アンケート調査を行いました。（1 回 650 サンプル／年 4 回）



旅行アンケート♪

公益社団法人
調査者：伊勢志摩観光コンベンション機構
☎ 0596-44-0800

伊勢志摩のさらなる魅力向上のため、下記のアンケートにお答えください。　日付：　平成　年　月　日

性別	都道府県名　※三重県内の方は市町名	
①男　②女	都道府県	市　町

年齢	①～10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代	⑧80代～	

問1　伊勢志摩に訪れたのは何回目ですか？（◯をつけてください）

① 初めて	② 2回目	③ 3回目	④ 4回目	⑤ 5～10回程度	⑥ 11回以上

問2　何人での訪問ですか？　人

問3　どなたとですか？（◯をつけてください）

① ひとり	② 恋人・夫婦	③ 大人同士の家族	④ 未成年の子供連れ家族	⑤ 友人	⑥ 職場	⑦その他（　）

問4　交通手段を教えてください（ご利用したすべての手段に◯をつけてください）

① 自家用車	② レンタカー	③ 近鉄	④ JR	⑤ バス	⑥ タクシー	⑦ 飛行機	⑧ 船	⑨その他（　）

問5　今回の旅の目的は何ですか？（複数回答OK！）

① 観光施設見学	② 買い物	③ グルメ	④ 景観見物	⑤ 神宮参拝	⑥ おもてなし	⑦ ドライブ	⑧ パワースポット	⑨ とにかく

アンケートの結果については、会員の皆さまに配付するとともに、当機構のホームページにも掲載します。

5 観光産業及び観光文化の振興と人材の育成に関する事業　　74 千円

伊勢志摩の各地域で一体となった集客交流が促進される体制づくりが進むよう人材の育成を図るため、地域の観光事業者及び観光客へのおもてなしに関心を持つ一般の方を対象に、食や伝統、歴史、文化についての基礎知識やおもてなし対応を習得できる研修やセミナーを実施しました。

「伊勢志摩アンバサダー」尾崎ななみさんによる「伊勢志摩アンバサダーセミナー」を実施しました。

日頃から SNS などで伊勢志摩の魅力を発信いただいており、平成 30 年度に実施した首都圏の女性を対象とした「伊勢志摩 PR セミナー」の内容をお話しいただきました。そのセミナーで感じた首都圏の女性の反応や、伊勢志摩地域の方が持つ観光客への思いと観光客が観光地に求めることとのギャップなどについても、わかりやすく説明していただきました。

開催日：令和元年 11 月 12 日（火）※第 1 回臨時理事会にあわせて開催

会　場：伊勢市二見生涯学習センター

6 伊勢志摩 WAON 寄附金の受領

当機構は、イオン株式会社と伊勢志摩地区の産業振興や観光振興及び地域の発展を目的として包括協定を締結しています。

平成 31 年 3 月～令和 2 年 2 月分の「伊勢志摩 WAON」カードの利用金額の 0.1%に当たる 3,743,013 円が、当機構に寄附されました。（イオンリテール株式会社様から 2,993,986 円、マックスバリュ東海株式会社様から 749,027 円）

また、平成 31 年 4 月 13 日にはイオン阿児店において、平成 30 年度に受領した寄附金の贈呈式を行いました。

7 その他

(1) 入退会について

令和元年度は、38 法人の入会があり、5 法人の退会がありました。

No.	入会者法人名	所　在　地	入会日
1	有限会社ニュー浜島	志摩市浜島町浜島 3020	平成 31 年 4 月 1 日
2	株式会社モアレリゾート	志摩市阿児町神明 822	4 月 1 日
3	有限会社出馬重機	志摩市阿児町甲賀 4541-1	4 月 25 日
4	磯部建設工業株式会社	志摩市磯部町迫間 72	4 月 25 日
5	エース・スクール	伊勢市辻久留 1 丁目 9-14	4 月 25 日
6	志摩一般廃棄物処理 協同組合	志摩市阿児町鵜方 82-69	4 月 25 日
7	株式会社シンヤ	伊勢市辻久留 2 丁目 7-17	4 月 25 日
8	清洋水産株式会社	度会郡南伊勢町奈屋浦 20	4 月 25 日
9	南部急送有限会社	志摩市阿児町鵜方 2884-265	4 月 25 日
10	畑中建設工業株式会社	志摩市阿児町鵜方 3308-1	4 月 25 日
11	フィオーレ志摩	志摩市阿児町神明 1916-60	4 月 25 日
12	マルカ運輸株式会社	志摩市阿児町鵜方 82-69	4 月 25 日
13	株式会社マルカタクシー	志摩市阿児町鵜方字川向井 3280-3	4 月 25 日
14	三重ナルミ株式会社	志摩市磯部町築地字下外戸 1524-1	4 月 25 日
15	三矢社会保険労務士事務所	志摩市阿児町鵜方 1225 シティガーデン 1F2 号	4 月 25 日

16	株式会社山本建材	志摩市阿児町立神 3412	4 月 25 日
17	株式会社吉村塗装	志摩市磯部町迫間 535-9	4 月 25 日
18	株式会社石吉組	志摩市阿児町鵜方 1233	令和元年 6 月 3 日
19	株式会社志摩商会	志摩市志摩町片田 1174-39	6 月 3 日
20	株式会社シュウカ	志摩市阿児町鵜方 1087-32	6 月 3 日
21	全日本空輸株式会社	名古屋市中村区名駅 4-7-1	6 月 3 日
22	株式会社ハワイ	志摩市阿児町鵜方 393-77	6 月 3 日
23	ユナイト三重株式会社	志摩市磯部町迫間 1261-129	6 月 3 日
24	有限会社いかだ荘山上	志摩市磯部町的矢 883-12	7 月 25 日
25	日本郵政株式会社 かんぽの宿鳥羽	鳥羽市安楽島町 1200-7	7 月 25 日
26	株式会社坂下工務店	志摩市大王町波切 2644	7 月 25 日
27	志摩環境事業協業組合	志摩市阿児町鵜方 9-44	7 月 25 日
28	第一生命保険株式会社三重支社伊勢南営業オフィス	志摩市阿児町神明 878-30	7 月 25 日
29	有限会社松勘商事	志摩市磯部町穴川 1365-10	7 月 25 日
30	丸文工業株式会社	志摩市阿児町鵜方 1173-1	7 月 25 日
31	山本水産有限会社	志摩市志摩町越賀 1803	7 月 25 日
32	有限会社アルパート	志摩市阿児町鵜方 2884-419	9 月 25 日
33	伊勢観光開発株式会社 伊勢カントリークラブ	度会郡玉城町世古 1362	9 月 25 日
34	株式会社近鉄ゴルフアンドリゾート近鉄賢島カンツリークラブ	志摩市阿児町鵜方 3620-5	9 月 25 日
35	近鉄グループホールディングス株式会社	大阪市天王寺区上本町 6 丁目 1-55	9 月 25 日
36	株式会社近鉄ゴルフアンドリゾート近鉄浜島カンツリークラブ	志摩市浜島町迫子 1614-1	9 月 25 日
37	南建工業株式会社	度会郡南伊勢町東宮 3108	9 月 25 日

38	株式会社近鉄・都ホテルズ都リゾート志摩ベイサイドテラス	志摩市阿児町鵜方 3618-33	11 月 21 日

（2）総会の開催について

総会名	日　時	議　題
定時	令和元年 6 月 20 日	・平成 30 年度事業報告及び収支決算報告（案）について ・令和元年度収支補正予算（案）について
第 1 回 臨時	12 月 25 日	・役員の選任（案）について ・令和元年度収支補正予算（案）について ・公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構会費規程の一部改正（案）について
第 2 回 臨時	令和 2 年 3 月 19 日	・令和元年度収支補正予算（案）について ・令和 2 年度事業計画及び収支予算（案）について

※定時・第 2 回臨時：伊勢市二見生涯学習センターにて開催
※第 1 回臨時：伊勢市二見公民館にて開催

（3）理事会の開催について

理事会名	日　時	議　題
定時	令和元年 5 月 24 日	・平成 30 年度事業報告及び収支決算報告（案）について ・令和元年度収支補正予算（案）について ・令和元年度定時総会の招集（案）について
第 1 回 臨時	11 月 12 日	・役員の選任（案）について ・令和元年度収支補正予算（案）について ・公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構会費規程の一部改正（案）について ・公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構臨時職員規程の一部改正（案）について ・令和元年度第 1 回臨時総会の招集（案）について
決議の 省略	令和 2 年 3 月 2 日	（みなし決議） ・令和元年度収支補正予算（案）について ・令和 2 年度事業計画及び収支予算（案）について ・令和元年度第 2 回臨時総会の招集（案）について

※定時・第１回臨時：伊勢市二見生涯学習センターにて開催

理事会の様子

総会の様子

(4) 伊勢志摩観光企画委員会の開催について

令和元年度の伊勢志摩観光企画委員会において、当機構の各事業について協議を行い、次年度において適正な事業運営を実施するための議論を重ねました。

会議名	日　時	協議事項
第１回	令和元年 ５月 15 日	・平成 30 年度事業報告及び収支決算書（案）について ・令和元年度収支補正予算（案）について ・インバウンド業務について
第２回	10 月 16 日	・令和元年度収支補正予算（案）について ・会費規程の一部改正（案）について ・臨時職員規程の一部改正（案）について ・令和元年度インバウンド事業について ・令和元年度国内誘客事業について ・令和２年度伊勢志摩観光コンベンション機構の取組（案）について
第３回	令和２年 ２月 14 日	・令和２年度事業計画及び収支予算（案）について

※第１回・第２回・第３回：伊勢市二見生涯学習センターにて開催

8 伊勢志摩キャンペーン事業（特別会計事業）

平成 30 年度から、「VISIT 伊勢志摩事業」により宿泊客数が低調な時期に対策期間を絞り込んだ効果的な取組を行うことから、本事業を一旦休止しています。

9 伊勢志摩学生団体誘致事業（特別会計事業）　　3,441 千円

首都圏、関西圏、その他地域の小・中学校及び高等学校等を主要ターゲットに、単年度来訪実績「10 校 1,000 名」を目指し、特に首都圏及び関西圏においては、「4 校 400 名」の新規及び継続来訪校数を目標に学生団体旅行の誘致活動を行いました。

伊勢志摩への誘致テーマ「美し国・環境学習　～自然・歴史・文化から学ぶ～」を継続し、会員及び体験施設や宿泊施設が共通の提案及びプログラムづくりに取り組みながら、積極的に情報発信することで伊勢志摩教育旅行の差別化を図りました。

事業としては、テーマに沿ったガイドブック「伊勢志摩においないさぁ」の改訂増刷と、学習テーマを反映した「学び方」提案ツールを作成し、誘致活動を効果的に支援しました。

誘致活動においては、首都圏及び関西圏等の学校訪問及び現地視察招聘、関係機関との情報交換などを積極的に展開しました。

また、三重県、北伊勢広域観光推進協議会との連携を強化し、学誘事業を効果的に推進しました。

（1）企画立案事業

総合学習テーマ「美し国・環境学習　～自然・歴史・文化から学ぶ～」の共有化・普遍化を図りながら、セールスツールを作成しました。

① セールスツールの作成

ア　学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においないさぁ」

増刷 1,000 部　改訂 2,000 部

イ　「学び方」提案ツール　MicrosoftPowerPoint 資料　20 ページ

（おいないさぁ増刷）

（おいないさぁ改訂）

学び方提案ツール

② 情報媒体の活用

伊勢志摩観光ナビでの誘致情報発信

(2) 誘致宣伝事業

目標に掲げる地域への効果的な誘致活動を展開するため、校長会、教育委員会、全修協、日修協及び県と連携しながら学校訪問セールス等を積極的に実施しました。

① 学校訪問セールス

ア　首都圏中学校

開催時期	令和元年 9 月 10 日～12 日
参加人数	8 班（2 名 1 班、計 16 名）
訪問校数	千葉県（千葉市・市川市・船橋市一部）公立中学校　16 校 神奈川県（川崎市）公立中学校　51 校 旅行会社　5 社　14 店舗
PR 内容	観光施設、宿泊施設及びモデルコースの紹介、 「おいないさぁ」ガイドブック配布・説明

イ　関西圏小学校

開催時期	令和 2 年 1 月 27 日～2 月 7 日
参加人数	9 班（2 名 1 班、計 18 名）
訪問校数	滋賀県内公立小学校　23 校 （甲賀市、湖南市、日野町） 京都府内公立小学校　15 校 （長岡京市、宇治市、井出町、大山崎町） 大阪市内公立小学校　24 校 旅行会社　30 社　32 店舗
PR 内容	観光施設、宿泊施設及びモデルコースの紹介、 「おいないさぁ」ガイドブック配布・説明

ウ　その他地域

委員、事務局等にて教育旅行エージェント（東北圏、首都圏、関西圏）8 社 9 店舗への訪問セールスを実施しました。

② 伊勢志摩現地招聘事業

全国修学旅行研究協会　伊勢志摩現地研修

開催日時	令和元年 7 月 28 日、29 日
参加者	関東地区公立中学校修学旅行委員会　12 名（事務局含む）
参加会員	参加会員　11 名

内容	関東地区公立中学校修学旅行委員会 12 名を伊勢志摩へ招聘し、当委員との意見交換会と懇親会を開催しました。 1 泊 2 日の行程で、体験施設 4 ヶ所、宿泊施設 3 ヶ所の視察を実施しました。

③ その他

ア　関係団体等主催のセミナー等への参加や、来訪校への対応可能範囲で歓迎セレモニーを実施しました。

イ　情報メディア等を利用した広報活動

ターゲットを絞った個々のセールス活動を補完すべく、観光経済新聞社発行の「観光経済新聞 中学校修学旅行特集」へ広告掲載を行い、「伊勢志摩」が教育旅行先検討時の候補となるよう、全国の中学校への配布や観光関連事業者、旅行エージェントに向けての広報活動を実施しました。

④ 受入体制整備調査事業

人口減少が続くなか、首都圏・関西圏の小・中学校及び高等学校等からの誘致活動を行ううえで、実際に伊勢志摩地域にどれだけの学生団体客を誘致する必要があるのか、どこから誘致すると良いのか、伊勢志摩地域の観光施設及び宿泊施設、三重県や各市町教育委員会、国内外からの受入体制や状況を把握し、効果的に学生団体客を誘致するための体制整備に取り組みました。

ア　誘致実績実態調査

3 市 1 町の観光協会を対象に誘致実績実態調査を実施しました。

イ　訪日教育旅行の受入体制調査

次年度の本格的な調査に向け、県及び各市町の教育委員会、学校側の指針等を確認して受入体制が整備できるよう各市町及び団体等との情報交換や収集に努めました。